

平成29年3月10日

各位

ダイダン株式会社

ダイダン九州支社・スマートエネルギーラボ（エネフィス九州）  
「BELS 5☆」、「建築物省エネ法の省エネ基準適合認定第1号」に続き、  
「CASBEE Sランク」取得のお知らせ

ダイダン株式会社（本店：大阪市西区、代表取締役社長：北野晶平、証券コード：1980）  
が、平成28年5月に完成させた「ダイダン九州支社・スマートエネルギーラボ」（通称：エ  
ネフィス九州®）は、「BELS 5☆」<sup>(\*)1</sup>「建築物省エネ法の省エネ基準適合認定第1号（福  
岡市）」<sup>(\*)2</sup>に続き、「CASBEE®」（建築物総合環境性能評価システム）認証制度<sup>(\*)3</sup>で最高  
ランクのSランクを取得しました（CASBEE-建築（新築））。



「ダイダン九州支社・スマートエネルギーラボ（エネフィス九州）」



- (\*)1 BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）とは、一般社団法人 住宅性能評価・表示協会による、建物の省エネルギー性能の表示制度です。
- (\*)2 建築物省エネ法の省エネ基準適合認定とは、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）第36条にもとづく、省エネ基準への適合認定制度です。
- (\*)3 CASBEE（建築物総合環境性能評価システム）とは、一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構による建築物の環境性能評価制度で、「S」を最高とし「A」「B+」「B-」「C」ランクが付与されます。

ダイダンは、建物のZEB化に向けた研究開発を、技術研究所新棟建設、研究棟改修（パレットリニューアル）を通して行ってきました。第3の取り組みとして、2016年5月に「人と地球が共存できるオフィス」をコンセプトに、建築設備の視点から省エネ性と快適性の両立を実証・実験する場として、エネフィス九州を計画・建設しました。

エネフィス九州は、都市部に立地する業務用ビルとして実際に使用しながらも、ZEB化技術を実証・実験する施設としています。また単にエネルギー消費量の削減にとどまらず、室内外の環境品質・快適性を維持しつつ大幅な省エネを実現するため、最先端技術の導入と総合設備工事業ならではのチャレンジを行っています。

一例として、太陽光発電システムとこれを活かした直流給電による電力システム、3種類の地中採熱方式、照明・空調（放射空調）一体型機器「CEILING FREE（シーリングフリー）」、粉じん持ち込み防止システム「ion-DROP（イオン・ドロップ）」などの最新の技術を取り入れています。

これら設備をダイダンの技術力でデザイン&コントロールして、室内の快適性を保ちながらもエネルギー消費量の大幅な抑制に挑戦し、年間のエネルギー消費量500MJ/m<sup>2</sup>(\*)4を目指しています。現在、竣工から約10ヶ月を経過し、実運用下の評価を継続しています。

(\*)4 MJ（メガジュール）：エネルギー消費量の単位。同規模の一般的なオフィスのエネルギー消費量は、約1,300MJ/m<sup>2</sup>。

CASBEEのSランク取得には、主に以下の項目などが高く評価され、総合設備業ならではの取り組みが活かされました。

- ①室内の光環境
- ②建築物の熱負荷
- ③自然エネルギーの利用
- ④設備システムの効率化
- ⑤地球温暖化への配慮

エネフィス九州では、以下のように産学連携によるプロジェクト体制を構築しています。各専門分野の先生方と協力し、さまざまな技術を盛り込んで評価を行っています。

- ・ 工学院大学 野部 達夫 教授 / 総合監修、エネルギー評価
- ・ 早稲田大学 田辺 新一 教授 / 室内快適性
- ・ 工学院大学 柳 宇 教授 / 室内空気質
- ・ 工学院大学 富樫 英介 准教授 / 地中熱利用
- ・ 芝浦工業大学 藤田 吾郎 教授 / 電力システム

ダイダンは、今後もZEB化技術の実証・実験を継続して行ない、お客様の必要とする最適な環境を提案し、構築してまいります。

■エネフィス九州 建物概要

- (1) 所在地：福岡市中央区警固三丁目1番24号
- (2) 規模：敷地面積=760㎡、延床面積=1,384㎡
- (3) 構造：S造、地下1階・地上3階
- (4) 設計：NTTファシリティーズ株式会社、ダイダン株式会社

以上

【お問合せ先】ダイダン株式会社業務本部広報部 伊藤  
〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10  
Tel.: 03-3261-8231 E-mail: itoshuichi@daidan.co.jp